

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになってきました。**ご卒園を迎えられた皆さんおめでとうございます。**
保護者の皆様は、4月の入学、進級にむけて体調管理にも気を付けていきたい時期ですね。今回は感染性胃腸炎についてのお話です。

あひるっこルームでは
こんな対処を行っています。
この疾患の場合は基本
安静室でのお預かりとなり、
症状を観察していきます。



多量の水様便により、お尻
のかぶれがひどい場合は、
排便時にお尻を洗ったり、
塗り薬を塗布したり、処方
されることもあります。



感染性胃腸炎

感染性胃腸炎はウイルス(ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス等)や細菌性(カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラ等)を原因とし、嘔気、嘔吐、下痢(白色水様便)血便、腹痛、食欲不振、発熱などの症状があります。整腸剤や、吐き気止めの薬を使うこともあり、症状に応じた対処療法が行われます。

以下の症状がある時は、すぐに受診しましょう。

- ① 嘔吐が続き、食事や水分が取れない。
- ② 多量の水様便が数回ある。
- ③ 機嫌が悪く、あやしても落ち着かない。また反応が乏しくウトウトしている。
- ④ 顔色が悪く、皮膚が乾燥する。
- ⑤ 手足が冷たい。
- ⑥ 排尿回数が少ない。
- ⑦ 泣いても涙が出ない。

脱水症状が強い時は、点滴や入院治療が必要になることもあります。



発熱時同様、水分を補給しますが、医師の指示のもと経口補水液を飲ませる場合もあります。



嘔吐や下痢がある時は
油物を控え消化の良い
ものを用意します。

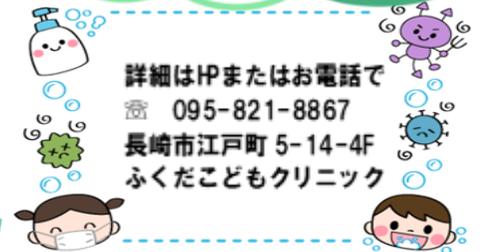


嘔吐物や下痢の交換時には、手袋、マスクを装着し速やかに行います。室内が汚れた場合は、塩素系消毒液で拭き換気も行います。



※お預かりをする前に、
発熱の有無にかかわらず
コロナ抗原検査を実施しています。
検査結果は15分程度かかります。

5月連休明けから、コロナウイルス感染症が第5類(インフルエンザ等)に移行されます。マスクの着用についても個人の判断とされていますが、場所や人の密度など、保護者の判断のもと、子どもたちも感染予防を心がけていきたいものですね。
手洗いうがいの習慣も継続していきましょう。



詳細はHPまたはお電話で
☎ 095-821-8867
長崎市江戸町 5-14-4F
ふうだこどもクリニック